

授業科目名(英文名)bbb / Course title	デザイン思考 / Design Thinking		
担当教員(所属) / Instructor	安江 健一(都市デザイン学部地球システム科学科)		
授業科目区分 / Category	専門教育科目 学環共通科目		
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course	-	授業種別 / Type of class	講義科目
開講学期曜限 / Period	2022年度 / Academic Year 第1ターム / Term 1 火/Tue 5	対象所属 / Eligible Faculty	
時間割コード / Registration Code	D41005	対象学年 / Eligible grade	1年
単位数 / Credits	1単位		
ナンバリングコード / Numbering Code			
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	安江 健一(理学部棟A323 ; yasueken(a)sus.u-toyama.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours	安江 健一(可能な限りメール等にて事前連絡して下さい。)		
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code			
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor	安江 健一		
MoodleコースURL / Moodle course URL	https://lms.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2022_D41005		
各種教育プログラム1 / Various Educational programs1			
各種教育プログラム2 / Various Educational programs2			
各種教育プログラム3 / Various Educational programs3			
各種教育プログラム4 / Various Educational programs4			
各種教育プログラム5 / Various Educational programs5			
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日		
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals		
デザイン思考の一連のプロセスから地域・社会の潜在的ニーズを理解して何が有用であるかを特定し、実現可能かつ持続可能な問題解決策をつくり出す思考法とスキルを学修する。			
達成目標 / Course Goals			
(1)デザイン思考を用いて地域・社会の問題を考えられるようになる (2)相手の気持ちに寄り添うことができる共感力を身につける (3)多様な主体が協力してイノベティブな問題解決策をつくり出す協創術を身につける (4)場のデザイン・コミュニケーション・構造化・合意形成のスキルを知る			
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule			
簡単なグループ学習を取り入れた講義により、現状をより良い状態へとする思考法とスキルを学修する。受講生は身近な地域を一つ選び、その地域に各回の内容を当てはめながらデザイン思考で扱う知識や技術を理解する。			
第1回： デザイン思考とは			
第2回： チームビルディングと課題設定			
第3回： デザイン思考における共感			
第4回： 問題定義における情報整理とストーリー抽出			
第5回： アイデア創造に必要なブレインストーミング			
第6回： プロトタイプの作成と評価			
第7回： ファシリテーションスキル			
第8回： 総合討論			
授業時間外学修(事前・事後学修) / Independent Study Outside of Class			
・事前に指定する資料を授業開始前までに講読する(1時間以上)。 ・社会問題や地域づくりに関する国内外の情報を把握して整理する(2時間以上)。 ・授業内容をまとめるとともに、課題に取り組む(1時間以上)。			
キーワード / Keywords	共感、協創、アクティブラーニング、アクションラーニング、ファシリテーション、まちづくり、実務経験教員科目		
履修上の注意 / Notices			

教科書 / Required Text	
参考書 / Required Materials	
教科書・参考書に関するその他通信欄	授業内容の理解を深めるための資料を1週間前にMoodle等で配付する。
成績評価の方法 / Evaluation	振り返りレポート(7回)と最終レポートにおいて、それぞれ70%と30%の重みをつけて授業の理解状況と分野横断的思考を総合し、総合評価(100点満点)60点以上を合格とする。
関連科目 / Related course	
リンク先URL / URL of syllabus or other information	
備考 / Notes	

授業追加情報 / Course add information

使用言語 / Language	日本語
アクティブ・ラーニングの実施 / Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容 / Contents of Active learning	自ら問い合わせをたてるセルフランニング、受講生同士の対話、グループラーニング
実務経験教員科目 / Work Experience teacher's subjects	
データサイエンス科目 / Data Science subjects	
他学部・他研究科等学生の履修可否 /	可